

会議録（要点記録）

会議名	令和7年度第4回 社会教育委員の会議 小委員会		
事務局	生涯学習課		
開催日時	令和7年11月17日（火） 午後4時から午後6時		
開催場所	小金井市第二庁舎701会議室		
出席委員	笹井委員、池田委員、小林委員		
欠席委員	金澤委員、渡邊委員		
事務局員	濱松生涯学習課長 最所生涯学習係長		
傍聴の可否	可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会議次第	<p>(1) 第5次生涯学習推進計画の策定について</p> <p>(2) 今後の日程について</p> <p>(3) その他</p> <p>配布資料</p> <p>資料 (仮称) 第5次小金井市生涯学習推進計画 (案)</p>		

## 会 議 結 果

### (1) 第5次生涯学習推進計画の策定について

- ① (仮称)第5次生涯学習推進計画について、第4章施策の展開を改めて資料のとおり作成し、事務局より以下の内容説明を行った。

前回の11月13日社会教育委員の会議のあと、委員からの意見を反映し、修正を加えたため、修正点を各委員に説明した。主な修正点としては、具体的な事業について、入れ替えを行ったものや、本文内容の修正、指標の修正を中心に説明した。

- ② 第4章について、各委員より意見がでた。

- ・ 前回社会教育委員の会議で時間を掛けて議論した部分が反映されていない。
- ・ コロナ禍以降、孤立孤独の問題等社会参加の問題が顕在化しているため、その認識・現状把握については、記載した方が良い。

- ③ 第5章指標について、各委員より意見がでた。

- ・ 事務局案として、定性的な指標を持ってきたということだが、目標値については根拠があるのか。
- ・ 指標の数値としては、延べ人数ではなく実人数であったり、人口カバー率がわかるような指標の方が、どの程度生涯学習が広まっているのか把握できる。例えば、図書館で言えば、利用者カード、公民館で言えば、使用団体数などであるが、長期未利用者を除くほうがより実態に即している。
- ・ 事務局案として、毎年実施している市の世論調査の中で、評価指標に使用できるものについては、了解した。今後、令和8年度以降に社会教育委員の会議の中で、指標について、適宜議論していくということで、計画本文に記載するほうが良い。

- ④ 計画を広く周知するための標語(スローガン)について、各委員より意見がでた。

- ・ 前回の社会教育委員の会議の中で、「生涯学習」「人生100年時代」「知りたいから始まる」「学び活かし合う」あたりの用語を使用してみたらどうかという意見が出たので、それを生かせないか。
- ・ 「知りたい」から始まる 生涯学習 とともに学び、活かし合うまち 小金井を社会教育委員から候補として、最終的には教育長に決定してほしい。

- ⑤ 第32期社会教育委員のまとめについて、各委員より意見がでた。

- ・ 第32期社会教育委員のまとめについて、評価の指標や、事業の進捗につい

て、どのように計画に反映するのか、そのあたりを第5次計画に記載したほうが良い。→事務局にて対応する予定である。

(2) 今後の日程について

- ① 事務局より、今後の日程について、確認した。
  
- ② 次回1月23日の社会教育委員の会議にてパブリックコメントについて議題にしたいと考えている。